

4	<b>CTF通信</b>	集う・遊ぶ 学ぶ・働く
2003年7月		発行:CTF松阪

## I T と福祉制度について

三重県身体障害者総合福祉センター経営企画チーム  
企画グループリーダー 白山 靖彦

最近 I T、I T という話の中で、障害者の方がその I T を利用していかに生活を充実していくか、ということが話題になっています。I T というのはパソコンだけでなく非常に広範囲のものなのですが、パソコンを例にとっても、ハードもソフトもどんどん進化してなかなかついて行けません。我々自身もついていけないということは、障害を持っている人にとっては、情報弱者（デバイド）になる可能性がさらに高くなると言えます。

本日は、障害者の方の I T 活用についての関連福祉制度について述べたいと思います。

### パソコン

障害者の方が使いやすい、便利な周辺機器とかソフトとかは、Windows パソコン用に作られているものが多い。（マッキントッシュ対応品は少ない）

日常生活用具として、プリンタを含めて給付対象となっています。

### 視覚障害者用活字文字読み上げ装置（スピーチオ）

紙に印刷された模様（S P コード）を読み取ることで、その紙に書いてある文章を音声で読み上げることができます。平成 15 年度から日常生活用具として認定されました。

### 重度身体障害者用意思伝達装置（伝の心）

A L S 患者さんが身体の一部をわずかに動かして、日常生活使用文や定型句を選択したり、自由に文章を作成できる装置です。インターネットもできます。入院中でも給付されます。

### 携帯型意思伝達装置（トーキングエイド）

音声言語機能に障害がある方が、話したいことを入力して、相手の前でその内容を音声で読み上げることができます。

これも日常生活用具として給付されます。

### マウスクリック自動実行ソフトウェア（マジックカーソル2000）

マウスのクリックができにくい方のために、指定の場所にマウスポインターをあてるだけで、クリックをしてもらえるようになるソフトウェアです。

障害者情報バリアフリー化支援事業による補助金対象です。

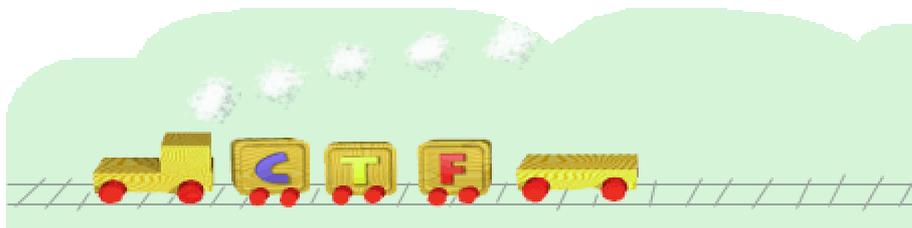
### I T に関する補助事業

障害者情報バリアフリー事業、パソコンボランティア養成・派遣事業、パソコンリサイクル事業、障害者 I T サポートセンター運営事業、パソコンボランティア指導者養成事業、高度情報通信福祉事業などがありますが、三重県で実施しているのは と だけです。

これから皆さんがいろんな情報を収集し共有化しながら、関係部署（県市町村）へ働きかけていただけたらと思います。

### 支援する側に必要なもの

I T の技術力と障害の知識、マネジメント力が一体となって機能すること、最後はやっぱり『やる気と情報！』です！！！！



(2)

紙情報のユニバーサルデザインの切り札 = スピーチオ  
CTF通信の一部が「スピーチオ」に対応



皆さん左の写真の可愛い卵型の機械は、いったい何だと思われませんか？

これは、高齢者や視覚障害者に向けて開発されたSPコード専用読み取り装置で、名前を「スピーチオ」と言います。

紙に印刷されているSPコードを読み取ることで、記録されている情報を音声で聞くことができます。

SPコードは、Microsoft Word で作る文書の片隅に簡単に印刷することができますので、視覚障害者も晴眼者も、同じ紙から同じ情報を得ることができる「紙情報のユニバーサルデザイン」が実現されます。

このスピーチオは、平成15年度厚生労働省日常生活用具「視覚障害者用活字文字読み上げ装置」として正式に認定されましたので、普及に弾みがつくものと期待されますが、そのためにはSPコードを印刷した文書が増えないと意味がありません。

そこで、CTF通信も今月号からSPコードを印刷することとしました。（2ページと3ページの右下にある切手大の様です）

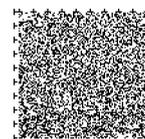


Microsoft Word の文書にSPコードを印刷するのは、専用ソフトをダウンロードして（無償でできます）パソコンにインストールすることで簡単にできますので、皆さんもぜひやってみてください。そして、文書にはSPコードが印刷してあるのが普通という、「紙情報のユニバーサルデザイン」を実現しましょう。

スピーチオ関連情報Webページ・アドレス：

<http://www.sp-code.com/index.html>

このスピーチオを始めて見たとき、『以前にどこかで見たような気がする・・・』が、なかなか思い出せずにいたのですが、最近やっと思い出しました。『そうだ！あのキョロちゃんだ！！』 皆さん、そう思いませんか？



## 第4回役員会開催

6月14日(土)松阪市障害者福祉センター(松阪市殿町)において、第4回役員会議を開催しました。

会員7名(うち役員6名)が出席し、第1回IT・コミュニケーション研究会の進め方、協賛事業(七夕まつり70、出会い発見まつさカウォーク70)でのイベント等について検討しました。



上の写真は、6月16日に開催された、第1回IT・コミュニケーション研究会の様子。50名の関係者の方が出席してくださいました。

## 6月に実施した事業

### 第4回役員会議

(6月14日)

### 聴覚障害者向けIT講座

第14回(6月13日)

第15回(6月27日)

### 障害者対象個人向けパソコン講座

(6月3日、10日、17日)

### ユニバーサルデザインリーディング事業

### IT・コミュニケーション研究会

第1回(6月16日)

### 会員研修(HP作成講座)

(6月13日、27日)



## 質問箱の設置について



会員の皆様、パソコンを使っていて『ちょっとわからない、困った!』という経験はありませんか?

そんなときお役に立つのが“質問箱”。CTF松阪のホームページに“質問箱”を設置しました。

利用にあたって、特にむずかしい条件はありません、お気軽にご利用ください。(ただし、内容によっては管理者の権限で削除されることもありますのでご了承ください)

## 7月の予定

### 第5回役員会議

19日 13:30~16:30

松阪市社会福祉会館にて

### 聴覚障害者向けIT講座

11日、25日 各18:30~20:30

松阪市中央公民館にて

### 障害者対象個人向けパソコン講座

1日、8日、15日、22日

各9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて

### ユニバーサルデザインリーディング事業

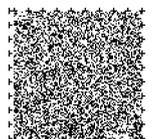
### IT・コミュニケーション研究会

22日 13:30~16:00

三重県松阪庁舎にて

これまでの質問や、それに対する回答も載っていますので見てください、すでにどなたかが、あなたと同じ質問をされて解決しているかも知れませんヨ。

それからもう一つお願いします、質問に対して、『私はこうやって解決した!』という方、ぜひ回答をしてください。そちらの投稿もお待ちしています。





先月号から連載をはじめて好評の「リレー随筆」ですが、今月は、このほど花岡公民館でパソコンクラブを立ち上げて、パソコンを通じて地域の方々のIT技術向上と親睦・融和に活躍されている、梶川正一様から投稿していただきました。

### バリアフリーとユニバーサルデザイン

先日、久し振りに田舎に帰った。まだ一部昔のままの道はあるが道路巾も広くなりカーブも少なくなっていた。私は現在80才。奈良で会社勤めを40年、勤めを終えて11年前に故郷三重に帰ってきた。想えば人生の半分を奈良で暮らしたことになる。40年と言っても前半の40年は、子供の頃を含めての40年。奈良での40年は成人してからの40年。帰ってきて感じたことは、松阪市内も大きく変化していたことである。道路も、町並みもすっかり変わっていたのに驚く。もっと変わっていたのは、田舎の人々の生活様式と心だ。私が子供の頃の田舎は、松阪から遠く離れた山奥の小さな集落だった。村の人々は松阪へでるのは一年に数える程も無かったと思う。村全体が一つの家族のようだった、不便な生活を誰も不便とは感じない「住めば都」で暮らしてきたのだから！。今は違う、スーパーもあるから街と同じ食生活であり、全てが都会と同じになった。人の心も?!。変わらないのは山と河。田には農作業をする人の姿も少なくなっ、耕運機だけがうなっている。(のどかな風景とは言えないようだ!)外で遊ぶ子供の姿はない、私たちの子供の頃は外でしか遊ばなかったから。小さい子も大きい子も何時も一緒だった、自然のなかで遊んだことを思い出す、子供の頃、よく遊んだ場所は整地されてすっかり変わっていた。

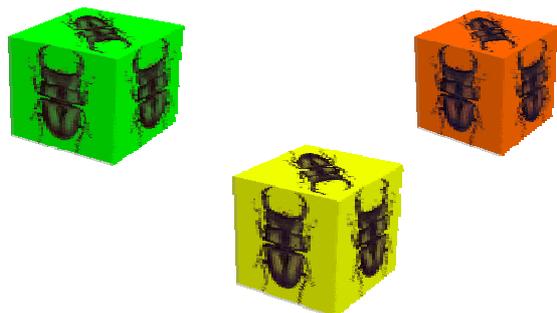
奈良では10年余り、ボランティアをしていたが、当時は、バリアフリーなんて言葉は知らなかった。ましてユニバーサルデザインも、ITの普及も無かった時代だから当然だ。昔と現在の生活様式を比較すると、此れがバリアフリーで、ユニバーサルデザインかと思う。障害をお持ちの方も、健常者も住みよくなったことは現在に生きる者にとっては幸せなことだ。最近車のメーカーも運転に不便な障害を取り除く努力をしているようだ。が、自分達の生活には気付かない障害が、まだ沢山あると思う。.....



然し、もっと大きなバリアがある、何時も世界の何処かでしている戦争だ、これも人間にとっては大きな障害ではないだろうか。賢明な人間の力でこの障害を取り除いてほしいものだ！。其れは何時になるか分からないが!？。

2003.6

CTF通信3号の執筆者・鈴木さん有難うございました。次回は高橋氏にお願いしました。



### CTF通信 第4号

2003年(平成15年)7月発行  
 発行者 ITを活用した障害者支援組織  
 (Challenged To the Future)

CTF松阪

発行責任者 川口保美

住所 〒515-0081

松阪市本町2181-1

電話 0598-21-7268

URL <http://www.geocities.jp/sanguudo/ctf/>